



吉川市立吉川中学校  
2020年4月開校

## 春夏秋冬

「考える 蓄える 伝える生徒」



生徒数	1月8日現在
1年生	186名
2年生	149名
3年生	71名
合計	406名

〒342-0038  
住所 吉川市美南 5-17-1  
電話 048-984-7565

1月号

### 教室での始業式 校長の話

校長 前田 稔

令和3年 2021年がスタートし、学校では3学期が始まりました。

元旦は、「日が昇って朝を迎えるといういつもと変わらない1日の始まりのはずなのに、どうして、この日だけは、静かな時間がゆったりと流れ、新鮮な気持ちになり、空気までがきれいに感じ、引き締まった感情がわくのだろう」と、また今年も感じました。

話は変わります。以前担任した2年生の学級で、生活班で一つ壁新聞を作成する活動をした時の話です。学級活動の時間で完成を目指しますが、その時間だけでは仕上げることはできません。各班とも昼休みや少し早く登校した短い時間を使って作業していました。ある班の班員の中に、このような作業が得意ではないらしく、なかなか真剣になれない男子生徒がいました。他の班員がいくら頑張っている、何もやらなかったり、ふざけてしまったりを繰り返していました。その班を仕切っているのは班長さん、女子生徒でした。その班長さんにこっそり「あまり注意しないのは何でなの？腹立たないの？先生からきっちり注意しようか？」と聞いてみました。すると「せっかくやるのだから、一人一人ができることを楽しくやろう決めました。わたしが腹を立ててしまうと雰囲気は崩れる。そして、それをしてしまうと、私の負けになる」とその班長さんはきっぱり答えました。「私って結構我慢強いんですよ先生。私の長所なんです」と付け加えました。それを聞いた私は正直、びっくりしました。「こいつ、スゲー！」と心の中で言葉を発しました。その後その班長さんはこの男子生徒に、「私がこれを仕上げるから、これをやって。」というスタンスで作業を進めました。「大人だな。気持ちが強いなあ」と痛感した私にとって衝撃的な出来事でした。

さて、6月の吉川中と3学期の吉川中とでは、7ヶ月分の個人や集団の成長の分だけレベルが上がっていなければなりません。1年の中で「最も大人の吉川中」となっていなければなりません。一回り大きくなった「考える、蓄える 伝える生徒」ばかりの吉川中にみなさんの力でなければなりません。

校長面接である生徒に「いじめのない学級を作るために、あなた持ちたい力はどんな力ですか？」と質問すると「コミュニケーションの力です」と答えてくれました。「どうやってその力をつけますか？」と続けて聞くと「話しかけることが大切ですが、そのためには聞くことがもっと大切です。」と説明してくれました。「自ら考えたことを、今までに蓄えた経験をもとに、人に勇気をもって伝える」これはまさに「吉川中を大人にする」にふさわしい個人の姿です。7か月間での成長として「考える、蓄える、伝える生徒」の姿や行動が感じられる学期が、吉川中学校初代全校生徒の3学期です。

## 1月の予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	金	冬季休業日	17	日	
2	土		18	月	専門委員会
3	日		19	火	
4	月		20	水	
5	火		21	木	ふれあいデー・心と体の安全点検
6	水		22	金	
7	木	始業式	23	土	
8	金		24	日	
9	土		25	月	
10	日		26	火	
11	月	成人の日	27	水	
12	火	給食開始	28	木	
13	水		29	金	
14	木		30	土	
15	金		31	日	
16	土				

※新型コロナウイルス感染状況により、行事予定が変更になることもあります。

※学校の電話対応時間につきましても原則、8:00～18:00までの対応となりました。

## 令和2年度 3学期始業式



1月7日(木)吉川中学校第3学期始業式がオンライン始業式という形で行われました。

校長先生の話をはじめ、各学年代表の話をメディアルームから各教室に映し出し聞くという形ではありましたが、どの教室でも真剣なまなざしで聞いていました。

## 一緒に読もう！新聞コンクール

本校2年、堀井菜々子さんが第11回「いっしょに読もう！新聞コンクール」で奨励賞を受賞しました。

この賞は日本新聞協会主催によるもので、県内から4人の中学生が受賞したものです。

読売新聞にも記事が掲載されました。

